

|   |      |      |         |
|---|------|------|---------|
| 教員名   | 佐藤彰彦 | 所属学科 | 地域づくり学科 |
| <p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>本ゼミでは、住民・行政・地域の関わりを主なテーマにしています。私たちの身の回りに起きている出来事背景には、そこに関与する人や組織が存在し、さらに、慣習や制度など社会に組み込まれたシステムが重層的に作用しています。こうしたことが研究の対象にどのように働き、影響を及ぼしているかを地域社会学という学問を使って読み解いていきます。</p>  |      |      |         |
| <p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>本ゼミは2015年度からのスタートになりますので、未確定な部分がありますが、おおむね次のような活動を想定しています。</p> <p><b>【基礎的な知識の習得】</b></p> <p>①（～3年次前半）地域社会学における基本的な理論、代表的な研究（モノグラフなどの質的調査、量的調査、行政・政治分野からアプローチした研究など）について輪読などを通じて学びます。</p> <p>②（～3年次後半）「身近な政策課題を見つけて解く」課題解決型のグループワークを行うなかで、課題発見、データ収集と分析、解決方策の検討といった仮定の政策／計画策定業務を体験します。ここでは、自ら作業計画を立て、時間・労力・コストなどの計数管理も習得してほしいです。</p> <p>③（3年次後半～）グループワークで学んだ研究や実作業の基本を基礎にして、各自関心の深いテーマを設定し、卒業研究に取り組んでもらいます。ここでは、問いと仮説を立て、調査し、問いや仮説を見直す作業を地道に繰り返すこととなります。無限ループのような苦しみにもがいているうちに、作品としての卒業論文のかたちが見えてくるはずです。</p> <p>④上記の①～③は、フィールドワークや夏合宿（長野を予定）と併せて進めます。また、報告や討論の機会を通じてプレゼンテーション技術を磨き、②や③の成果などは是非、就職活動にも役立ててほしいです。</p> |      |      |         |
| <p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>まだ卒業生はいませんが、問いや仮説を立てたり、課題を発見したり、その解決方法を考えることは、社会人として必要な基本スキルです。複眼的・大局的な視野から物事を捉えることができ、それをしっかりとした根拠に基づいて論理的に組み立て、伝えることができるようになってほしいです。</p>   |      |      |         |
| <p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>宮台真司（2008）『14歳からの社会学 —これからの社会を生きる君に』世界文化社、篠原一（2004）『市民の政治学—討議デモクラシーとは何か』岩波新書、森岡清志（2008）『地域の社会学』有斐閣アルマ</p>  |      |      |         |
| <p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>地域や社会のこゝを見つめ直し、考え、実際にかかわり、行動できる大人になってください！一緒に勉強しましょう。君たちが社会を変える！</p>  |      |      |         |